



Situmの紹介



屋内測位の現状

屋外測位に関しては、2018年11月にみちびきがサービスを開始しており、高精度測位を行う環境が整いつつある。

一方で、屋内測位に関しては屋外と比較すると測位を行う環境の整備が遅れている。



高精度測位社会プロジェクト

2020年に開催される東京オリンピック／パラリンピックに向けて、屋内外のシームレスな測位を行える環境を整え、様々なサービスの実現を目指すプロジェクト。国土交通省が推進している。

屋内外シームレス測位の実証実験や、屋内地図のオープンデータ化、パブリックタグの登録などを行っている。



高精度測位社会プロジェクト

具体的な取り組みとしては、、

- ・屋内外シームレス測位サービス実証実験の実施

「ジャパンスマートナビ」

- ・屋内地図のオープンデータ化

実証実験を実施した地区の屋内地図をG空間
情報センターにて公開

- ・パブリックタグの登録・利用の推進



屋内測位技術

- ・機器を設置する場合

(BLE、Wi-Fi AP、IMES、音波など)

これらを使用する場合は、チェックイン方式、三点測量などで、現在地を決定する。

- ・機器を設置しない場合

磁気強度マップを作成し、環境分析方式による測位を行う



Situmとは

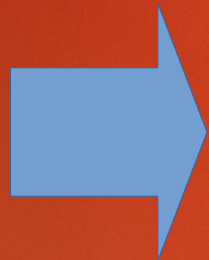
- ・環境分析方式、BLE信号、Wi-Fi信号に対応したハイブリッド測位を行う屋内測位サービス
- ・iPhone、Android、Cordovaに対応したSDKが用意されている
- ・ナビゲーション、POI(Point Of Interest)の登録を行うことができる。



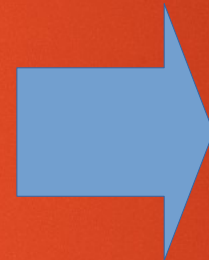
Situmでの屋内測位の流れ



Situm Mapping Toolで環境
測定
(専用の機器等は不要)



AIアルゴリズムを用
いて
磁気・電波強度マッ
プの作成



アプリで位置情報
を利用



Situmの利点

- ・初期の設備投資なしで動作可能
携帯端末を使った環境マッピングのみでサービスの利用が可能
- ・環境マップのみでも動作するので、停電の影響が軽微である。



今日のデモアプリ配布しています



今日の会場のフロア
マップと現在地が表
示されます。

